

令和 7 年度

医療安全対策講習会

バイタルサインセミナー

と き 令和7年9月7日(日) 午前10時より

ところ 佐賀県歯科医師会館 1階 ホール
佐賀市西田代2丁目5番24号
TEL0952-25-2291

一般社団法人 佐賀県歯科医師会

ご 挨拶

一般社団法人 佐賀県歯科医師会
会 長 門 司 達 也

本会会員の皆様方におかれましては、令和7年度医療安全対策講習会「バイタルサインセミナー」の開催に際しまして、ご多忙の中ご出席いただき誠にありがとうございます。平素より本会の会務運営に格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、わが国の歯科医療を取り巻く環境は、超高齢社会の進展や生活習慣病の増加に伴い、全身的な配慮を前提とした歯科治療の重要性が一層高まっております。患者さんに安全で安心できる歯科医療を提供するためには、正確な全身状態の把握と適切なリスク管理が必須であり、我々歯科医師に求められる責務であります。

さらに、政府が推進する地域包括ケアシステムにおいては、「かかりつけ歯科医」として在宅医療や多職種連携の中核を担うことが期待されております。そのためにも、日常臨床における全身管理の知識と技術を高め、医科をはじめとする他職種と対等に連携しうる力を養うことが今後ますます重要になってまいります。

本日のセミナーでは、九州歯科大学 歯科麻酔疼痛管理学分野 教授 左合徹平先生をお迎えし、「歯科医院における医療安全対策」をご講演いただきます。日常診療における偶発症への備え、術前・術中・術後の全身管理のあり方について、明日からの診療に直結する多くの学びを得られることと存じます。

最後になりましたが、本セミナーの開催にあたりご尽力いただきました関係各位に、会員を代表して深甚なる謝意を表しますとともに、本日の学びが皆様の臨床の一助となりますことを心より祈念申し上げます。

ご 挨拶

一般社団法人 日本歯科麻酔学会
理事長 宮脇 卓也

一般社団法人日本歯科麻酔学会が主催するこの「バイタルサインセミナー」は、当学会が日本歯科医学会を通じて日本歯科医師会にご依頼させていただき、日本歯科医師会から都道府県歯科医師会にアナウンスしていただいております。コロナ禍の間は開催できなかつたのですが、今回で第 86 回目の開催となります。すでに複数回開催していただいている歯科医師会もあり、ここ佐賀県歯科医師会も三度目の開催となります。当学会の活動にご理解をいただき、誠に感謝申し上げます。

当学会は、日本歯科専門医機構から認可された専門医を輩出している専門分野ですが、決して皆様の診療とかけ離れたものではなく、私達の役割は、歯科麻酔学に関する研究を通じて安心・安全な歯科医療のために必要な知識や技能を研究、開発し、それを広く歯科医療に係わる方々および国民の皆様に提供することを目的としており、とても身近な領域です。

日本社会は高齢化がますます進展しており、皆様の日頃の歯科診療の中で、全身疾患を有しておられる患者さんや、在宅で療養されておられる患者さんの診療をされる機会が増えてきていると思われまふ。一方、医療事故に対する社会的責任もどんどん重くなつてきているのが現実です。また、コロナ禍を体験し、歯科診療においても常に感染対策の知識を更新しておかないといけない状況です。本セミナーでは「医療安全」「緊急時対応」「院内感染対策」について、歯科医療に係わる者は知っておくべき知識を提供できるよう準備しております。

今回の講師は、新しく九州歯科大学 歯科侵襲制御学分野の教授に就任された、当学会のニューリーダーの一人である左合 徹平先生です。皆様方には十分満足のいくセミナーになることを保証いたします。

なお、当学会では 2012 年度からは学会の登録医制度を、2015 年度からは認定歯科衛生士制度を開始し、生涯研修に資する制度を構築しております。今回のバイタルサインセミナーに参加され、歯科麻酔に関心を持たれた先生や歯科衛生士の方がおられましたら、登録医や認定歯科衛生士としてぜひ一緒に活動していただければと願っております。

それでは皆様、有意義な一日をお過ごし下さい。

安全な歯科医療を提供する バイタルサインセミナー

期 日 令和7年9月7日(日) 10:00~13:00 (予定)
場 所 佐賀県歯科医師会館 1階 ホール

プログラム

司 会 佐賀県歯科医師会 医療管理学術委員会
委員 長 尾 鷲 俊 行

1. 開 会 (10:00) 佐賀県歯科医師会 常務理事 原 田 雄 一
2. 挨拶 佐賀県歯科医師会 会 長 門 司 達 也
日本歯科麻酔学会理事・地域医療委員会
片 山 莊 太 郎
3. 講 師 紹 介 佐賀県歯科医師会 医療管理学術委員会
委員 長 尾 鷲 俊 行
4. 講 演 (10:10) 演 題:「歯科医院における医療安全対策」
講 師:九州歯科大学 歯科麻酔疼痛管理学分野
教 授 左 合 徹 平
- 休 憩 — (会場設営)
5. 総合討論会 (12:20) 登 壇:九州歯科大学 歯科麻酔疼痛管理学分野
教 授 左 合 徹 平
日本歯科麻酔学会理事・地域医療委員会
片 山 莊 太 郎
佐賀県歯科医師会 医療管理学術委員会
副委員 長 松 尾 勇 弥
6. 閉 会 (13:00) 佐賀県歯科医師会 経営管理部
理 事 古 舘 剛

安全な歯科医療のためのバイタルサインセミナー 「歯科医院における医療安全対策」

令和7年9月7日

九州歯科大学 歯科麻酔疼痛管理学分野
教授 左合徹平

1. バイタルサインの基本

- バイタルサインとは？
 - 血圧
 - 血圧の仕組み
 - 収縮期血圧と拡張期血圧
 - 血圧測定時の正しい姿勢・マンシェットの巻き方
 - 血圧測定時に注意すべき疾患
 - 正常血圧と高血圧
 - 脈拍
 - 脈拍の測定法と観察ポイント・用語の定義
 - 経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)
 - 動脈血酸素飽和度とは？
 - パルスオキシメーターの正しい装着法と正常な数値が出ない場合
 - SpO₂測定時の注意点
 - その他のバイタルサイン
 - 呼吸数, 呼吸様式
 - 呼吸数の正常値
 - 異常な呼吸様式
- 心電図
- 電極の付け方と正常な波形
 - 致死的な不整脈と除細動の適応

2. 院内感染防止対策

- 標準予防策及び新興感染症に対する対策
- 一般歯科診療時の院内感染対策に係る指針(第2版)
 - 1.医療従事者の防護関連【質問1～6】
 - ① 歯科診療時の手洗い

- ② 歯科診療時の手袋
- ③ 歯科診療後の環境整備時の手袋
- ④ 歯科診療時の個人防護用具(メガネ, フェイスシールド等)
- ⑤ 歯科診療時の術衣
- ⑥ デンタル撮影時の汚染防止用カバー

2. 器材などの滅菌・消毒関連【質問 7～9】

- ⑦ 歯科診療に使用するアルコール綿
- ⑧ ハンドピースの滅菌
- ⑨ バー, ファイル, 超音波チップなどの滅菌

3. 診療室設備関連【質問 10, 11】

- ⑩ 歯科用ユニットの消毒, ラッピング
- ⑪ 口腔外バキューム

4. 技工関連【質問 12, 13】

- ⑫ 印象体の消毒
- ⑬ 歯科医師と歯科技工士の消毒に対する情報交換

5. ワクチン関連【質問 14】

- ⑭ B 型肝炎ワクチン

6. 針刺関連【質問 15】

- ⑮ リキャップと針刺し事故

7. 廃棄物関連【質問 16】

- ⑯ メスや針の廃棄

8. 器材などの滅菌・消毒関連(新しい知見)【質問 17～19】

- ⑰ ヨーロッパ小型高圧蒸気滅菌器の分類(EN13060)クラス B とクラス S
- ⑱ ヨーロッパ小型高圧蒸気滅菌器の分類クラス N
- ⑲ 未包装での歯科用器具の滅菌処理

3. 緊急時の対応

1) 高齢者, 偶発症に対する緊急時の対応

- 血管迷走神経反射
 - 血管迷走神経反射の発生機序・症状・診断のポイント・対処法・予防法
- 低血糖
 - 低血糖の症状・対処法
- 過換気症候群
 - 過換気症候群の病態・症状・診断のポイント・対処法
- 喘息発作
 - 喘息の病態・発作時の初期対応

- アナフィラキシーショック
 - アナフィラキシーショックの病態・診断のポイント・診断基準・対処法
- 急性局所麻酔中毒
 - 急性局所麻酔中毒の病態・症状・対処法

- 高齢者の罹患率が高い全身疾患
 - 急性冠症候群(心筋梗塞, 狭心症)
 - ✓ 急性冠症候群の症状・診断のポイント・対処法
 - 高血圧
 - ✓ 歯科治療中の高血圧への対応
- 2) 歯科医院で必要となる救急薬品
 - Basic な薬剤(アドレナリン, 酸素)
 - 追加常備候補薬剤(ニトログリセリン, 気管支拡張薬, ブドウ糖)
 - Advance な薬剤(アトロピン, 硝酸薬, アスピリン, エフェドリン, ベンゾジアゼピン)

4. 医療事故対策等の医療安全対策

- 医療安全管理
 - 歯科診療所における安全管理体制
- 医療事故とは
 - 医療事故と医療過誤
- 日本医療機能評価機構
 - 日本医療機能評価機構の役割
- ヒヤリハット・インシデント・アクシデント
- ハインリッヒの法則
- スイスチーズモデル
- ヒューマンエラーの原因究明と医療安全のための方策
 - 根本原因分析
 - SHEL
 - SHELL
 - P-mSHELL
 - 4 M- 4 E

左 合 徹 平 先生

九州歯科大学 歯科麻酔疼痛管理学分野 教授

【略歴】

平成 19 年 九州歯科大学 歯学部 歯学科 卒業
平成 24 年 九州歯科大学大学院 歯学研究科修了
平成 24 年 九州歯科大学 歯科侵襲制御学分野 助教
令和 3 年 オーフス大学(デンマーク) 歯学部 客員研究員
令和 6 年 九州歯科大学 歯科侵襲制御学分野 教授
令和 7 年 分野名変更に伴い現職

【所属学会】

日本歯科麻酔学会(指導医, 専門医, 認定医)
日本口腔顔面痛学会(指導医, 専門医)
日本障害者歯科学会(認定医)
日本いたみ財団 いたみ専門医